

## 創立記念日

2020.5.7

本日、5月7日は本校の創立記念日である。昨年は創立百周年の年であったため、本校の沿革や歴史について知る機会に恵まれた。本校の創立記念日は、今年を入れてもあと3回しかない。その重みをかみしめたい。

今までは、本校同窓会の主催で5月8日に創立記念講演会を行っていた。今年度の計画では、講演会ではなく、新たな取り組みをするはずであった。まず、同窓会役員の方々にご推薦いただいた地元の講師の方に問題提起をしていただく。それを受けて本校の生徒たちが小グループになり、梁川の未来について話し合う。そして、その結果を発表し合うというものだった。小グループは1・2・3年生混合の縦割りグループを考えていた。

ぜひこのような企画を実現したかったが、現時点での実現は難しい。5月8日は臨時休業が延長されたため実施できないが、2学期になり状況が落ち着いた頃に、もう一度企画してみたい。生徒たちがこの梁川の地をどのようにしたいのか、どのようになってほしいのか、どんなビジョンを持っているのか、ぜひ一人一人の言葉で聞かせてほしい。そういった場がほしい。

一斉臨時休業は当面延長されたが、この状況が収まり、数年後に振り返ったときに、あの年は大変だったが、非常事態宣言が出されていた大型連休が「分水嶺」だったと思うようになるのではなかろうか。分水嶺とは、雨水が異なる水系に分かれる場所であることから、物事の方向性が決まる分かれ目のたとえとして使われる。

東京都知事の「STAY HOME」という言葉がすっかり浸透してきた。東京都の知事であるから東京都民の皆さんへのメッセージのはずである。しかし、連日報道されていると、あたかも全国民に向けてのメッセージのように聞こえてくる。かえってこれがよかったのかもしれない。「家にいてください」というよりも横文字の方がインパクトがあり広まりやすい。

我が家もそうだが、それぞれのご家庭で今までにないくらい家族が家にいるようになった。自然と何をしようかと考えるようになる。ゆったりするとかボーッとするというのは、そう何日間も続かない。元来人は何かをしていないと生きていられないものである。

今まではやろうと思ってもなかなか手を付けられなかった家の片付けや大掃除をするご家庭もあるだろう。この機会に新たな趣味を始めた方もいらっしゃるかもしれない。家でできる運動を研究している方もいるだろう。

我が家では、5月1日から娘の大学のオンライン授業が始まった。週末の土日はないが、月曜日から金曜日まで行われる。5月4日（月）・5日（火）・6日（水）もあった。今のところ、これが8月13日まで続くようである。

オンライン授業にはインターネット環境が必須条件となる。だが、我が家のWi-Fi環境が不安定だった。そこで、いろいろとやってみた。使っていなかったルーターを接続してみたところ、今までよりも広く強力につながるようになった。一気に問題が解決した。5月1日に間に合っただった。

今年の梁川高校創立記念日は、それぞれの家庭で生徒が一人一人、今何ができるか、何をすべきかを考える日である。それが学校再開後に生きてくる。